

# 令和3年度国民健康保険事業 決算見込について

## 令和3年度宇治市国民健康保険運営協議会の主な流れ

第1回	11月18日(木)開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険事業の概要を説明</li> <li>・令和2年度決算を報告</li> </ul>
-----	-------------	--



<令和4年1月開催>

第2回	1月6日(木)開催	<p style="text-align: center;"><b>諮問</b></p> <p style="text-align: center;">令和3年度決算見込を報告</p>
-----	-----------	--



1月中旬

京都府より標準保険料率提示(予定)



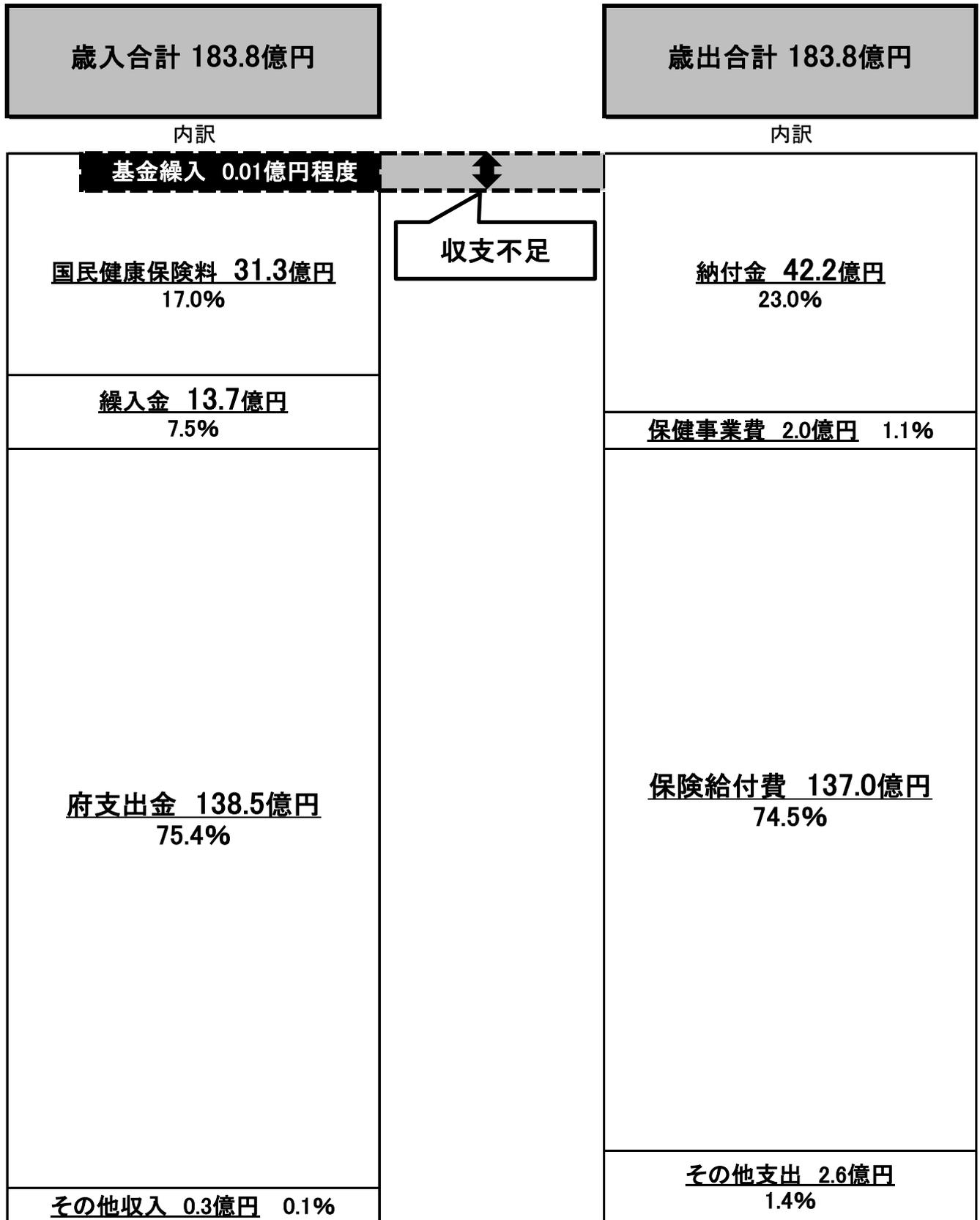
第3回	1月20日(木)開催	<p style="text-align: center;">決算などの状況と標準保険料率をふまえ 令和4年度保険料率などについて審議</p>
第4回以降(開催未定)		



1月末	答申
-----	----

# 令和3年度国民健康保険事業特別会計決算見込の概況

令和3年度の決算は、歳入と歳出が概ね均衡する見込み。



**【歳入(主要なもの)】 決算見込 183.8億円 (当初予算 174.7億円)**

---

**○ 国民健康保険料 決算見込 31.3億円 (当初予算 31.6億円)**

---

国民健康保険事業の費用に充てるため、国保加入世帯の世帯主が市町村に納付する保険料

**○ 繰入金 決算見込 13.7億円 (当初予算 14.9億円)**

---

一般会計から国民健康保険特別会計に繰り入れを行っている一般会計繰入金と基金の取崩しである基金繰入金により構成

**○ 府支出金 決算見込 138.5億円 (当初予算 127.8億円)**

---

京都府が市町村に対して、国民健康保険事業に要する費用の一部を負担する負担金及び交付金

※制度改革により、国からの負担金及び交付金が含まれる

※保険給付に必要な費用を賄う普通交付金と、市町村の状況等に応じて調整を行う特別交付金がある

**【歳出(主要なもの)】 決算見込 183.8億円 (当初予算 174.7億円)**

---

**○ 納付金 決算見込 42.2億円 (当初予算 42.2億円)**

---

制度改革により、京都府が市町村への交付金等に充てるため、市町村の医療費水準や所得水準等に応じて徴収する納付金

**○ 保健事業費 決算見込 2.0億円 (当初予算 2.1億円)**

---

被保険者の健康の増進等のために行う保健事業(特定健康診査・人間ドックなど)に要する費用

**○ 保険給付費 決算見込 137.0億円 (当初予算 127.1億円)**

---

被保険者が保険医療機関で診療を受けた際などに支払う一部自己負担金(3割等)を除いた費用を、保険者が給付(保険医療機関に支払う)するものなど

※高額療養費のほか、出産育児一時金や葬祭費なども含まれる

## 令和3年度国民健康保険事業特別会計決算見込の内訳

(単位:億円)

項目	歳入			
	R2	R3		
	決算	当初予算	決算見込	差引
国民健康保険料	32.8	31.6	31.3	△ 0.3
府支出金	129.9	127.8	138.5	10.7
普通交付金	126.3	125.8	135.9	10.1
特別交付金	3.6	2.0	2.6	0.6
繰入金	13.6	14.9	13.7	△ 1.2
基金(財源対策)	0.2	1.5	(100万円程度) 0.0	△ 1.5
その他の収入	0.5	0.4	0.3	△ 0.1
<b>歳入合計</b>	<b>176.8</b>	<b>174.7</b>	<b>183.8</b>	<b>9.1</b>

※財源対策…収支の均衡などを目的として歳入の追加を行うもの

### ＜令和3年度当初予算と決算見込の主な増減要因＞

予算規模は、歳入・歳出ともに9億円程度の増加となる見込み。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えがみられた昨年度に比べ今年度は歳出の保険給付費が大幅に増加し、歳入の府支出金（普通交付金）で歳出の増加分と同額が賄われたことがあげられる。

その他、新型コロナウイルス感染症の長期化に伴い先行きが不透明な経済情勢に加え、新たな変異株であるオミクロン株による感染拡大が年度末にかけて懸念されることを考慮し、歳入における保険料収入額を抑制して見込む。

令和3年度の決算見込としては、100万円程度の収支不足が生じるものの、歳入・歳出は概ね均衡する見通し。



保険料の収納状況、府支出金や歳出の動向等に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により今後の見通しが不透明であるため、収支差引の変動を注視する必要がある。

(単位:億円)

歳 出				
項 目	R2	R3		
	決算	当初予算	決算見込	差引
総務費	2.5	2.8	2.5	△ 0.3
保険給付費	127.6	127.1	137.0	9.9
国保事業費納付金	44.6	42.2	42.2	0.0
保健事業費	1.9	2.1	2.0	△ 0.1
諸支出金	0.2	0.3	0.1	△ 0.2
予備費	0.0	0.2	0.0	△ 0.2
歳 出 合 計	176.8	174.7	183.8	9.1

項 目	R2	R3		
	決算	当初予算	決算見込	差引
歳入総額	176.8	174.7	183.8	9.1
歳出総額	176.8	174.7	183.8	9.1
収支差引	0.0	0.0	0.0	0.0
基金繰入の財源 対策分を除く	△ 0.2	△ 1.5	(100万円程度) 0.0	1.5

### <令和4年度予算>

1月中旬に京都府より標準保険料率及び保険給付費・被保険者数等の推計が示される予定。今後も引き続き、一人あたり医療費の増加が宇治市だけでなく京都府の他市町村でも同様に見込まれることや、令和4年度からは団塊の世代が後期高齢者医療制度へ移行することに伴い被保険者数がこれまでになく減少すること等を踏まえると、1月中旬に示される標準保険料率の算定結果等は上昇傾向であると想定される。



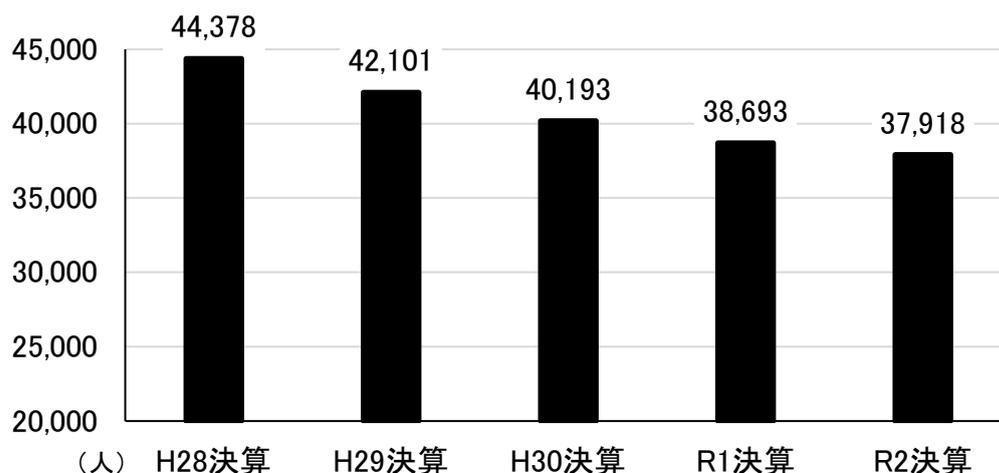
決算等の状況と標準保険料率をふまえ、次回以降、令和4年度保険料率などについて議論。

## 令和3年度国民健康保険事業特別会計決算見込 参考資料

### ○ 被保険者数の推移

社保加入や後期高齢者医療制度への移行等に伴い減少傾向であるが、令和2年度においても減少傾向が続いている。

#### <年度平均の推移>



	H28決算	H29決算	H30決算	R1決算	R2決算
被保険者数	44,378人	42,101人	40,193人	38,693人	37,918人
前年度増減	△1,984	△2,277	△1,908	△1,500	△775

#### <月別の推移>

	R3年度	R2年度	差引
4月	38,059人	38,297人	△ 238
5月	37,956人	38,226人	△ 270
6月	37,741人	38,117人	△ 376
7月	37,670人	38,094人	△ 424
8月	37,501人	37,994人	△ 493
9月	37,443人	37,958人	△ 515
10月	37,340人	37,916人	△ 576
11月	37,163人	37,827人	△ 664
12月		37,843人	
1月		37,652人	
2月		37,600人	
3月		37,493人	

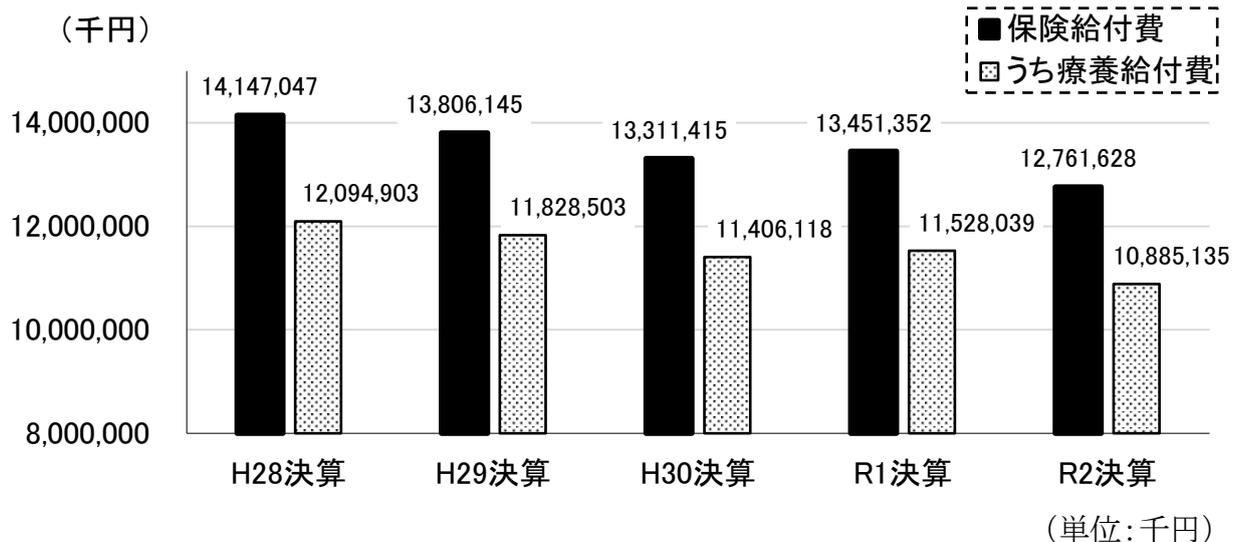
※各月末日時点

○ 保険給付費の状況

令和元年度に増加したものの、被保険者数の減少に伴い減少傾向にあった。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等の要因により減少となる。現時点では、新型コロナウイルス感染症による影響が予測できないことから、引き続き今後の推移を見守る必要がある。

<全体の推移>



	H28決算	H29決算	H30決算	R1決算	R2決算
保険給付費	14,147,047	13,806,145	13,311,415	13,451,352	12,761,628
うち療養給付費	12,094,903	11,828,503	11,406,118	11,528,039	10,885,135

<療養給付費の月別推移>

(単位:千円)

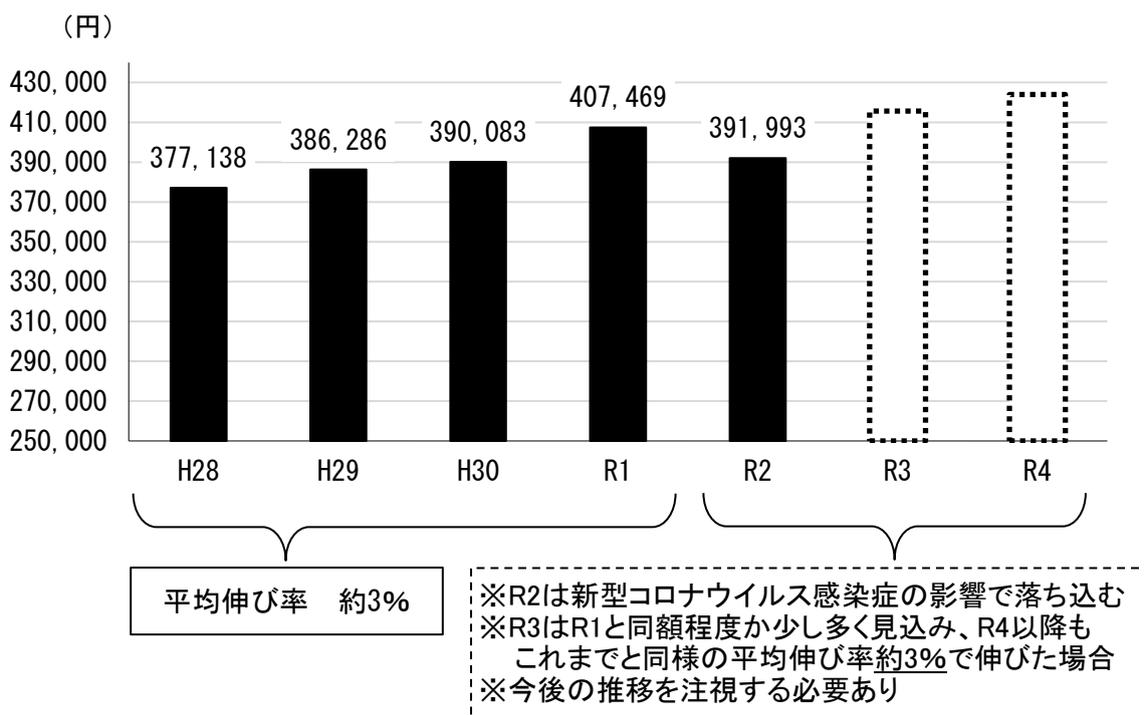
	R3年度	R2年度	R1年度	差引(R3-R2)	差引(R3-R1)
3月診療分	1,014,199	936,136	996,209	78,063	17,990
4月診療分	987,905	861,730	962,979	126,175	24,926
5月診療分	931,014	789,628	944,070	141,386	△ 13,056
6月診療分	988,598	931,329	954,547	57,269	34,051
7月診療分	966,504	934,274	986,118	32,230	△ 19,614
8月診療分	963,709	894,664	937,221	69,045	26,488
9月診療分	948,010	932,272	948,989	15,738	△ 979
10月診療分	1,008,396	999,751	978,671	8,645	29,725
11月診療分		889,865	961,382		
12月診療分		943,389	977,334		
1月診療分		890,384	941,256		
2月診療分		885,277	943,398		
戻入等		△ 3,564	△ 4,135		
計	7,808,335	10,885,135	11,528,039	528,551	99,531

○ 1人あたり医療費の状況

被保険者数の減少に伴い減少傾向にある保険給付費とは異なり、1人あたり診療費は継続して上昇傾向にあった。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等の要因により、保険給付費と同様に1人あたり診療費も減少となる。現時点では、新型コロナウイルス感染症による影響が予測できないことから、引き続き今後の推移を見守る必要がある。

<1人あたり医療費の状況>



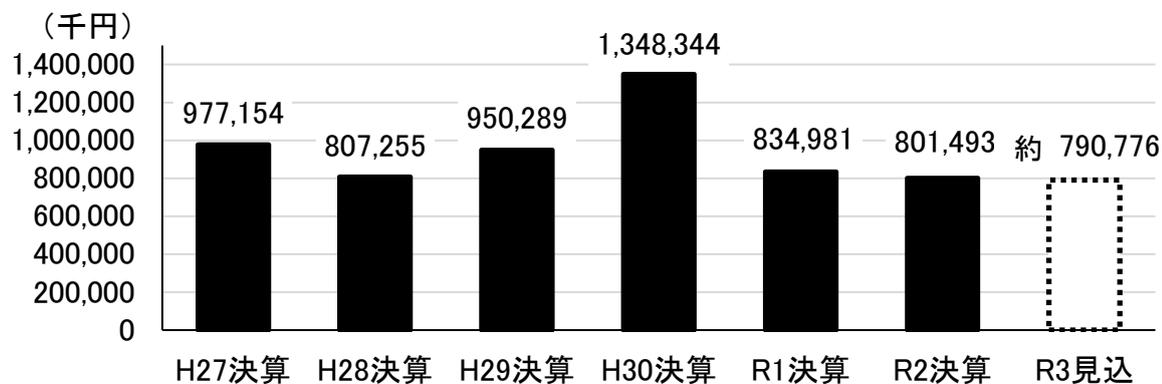
<被保険者1人あたり診療費の推移>

(単位:円)

年度	診療費計	診療費の内訳				
		伸び率	入院	入院外	歯科	調剤等
H27	369,005	3.7%	129,852	133,389	25,807	79,957
H28	377,138	2.2%	139,293	135,257	25,656	76,931
H29	386,286	2.4%	144,105	137,543	26,707	77,930
H30	390,081	1.0%	147,171	137,911	27,365	77,634
R1	407,469	4.5%	154,999	141,896	28,055	82,519
R2	391,993	△ 3.8%	147,243	134,529	26,460	83,761

○ 基金残高の状況

<年度末残高の推移>



(単位:千円)

年度	年度末残高	繰入(取崩し)			積立		
		繰入	取崩し	繰越金	繰入	取崩し	繰越金
H27決算	977,154	344,356	4,356	340,000	243,625	1,926	241,699
H28決算	807,255	378,796	3,796	375,000	208,897	830	208,067
H29決算	950,289	273,001	5,001	268,000	416,035	477	415,558
H30決算	1,348,344	226,353	5,561	220,792	624,408	565	623,843
R1決算	834,981	514,063	9,031	505,032	700	700	0
R2決算	801,493	33,523	9,391	24,132	35	35	0
R3見込	約790,776	約10,722	9,722	約 1,000	5	5	0

◎ 令和2年度運営協議会で確認した内容

- ・ **基本額の目安…当該年度保険料の1期分相当(保険料30億円とした場合、3億円)**  
 制度改革以降、保険給付が普通交付金で賄われるため、収支不足の要因は保険料調定、  
 収納の減少が主となることから、保険料額を基準とする。  
 保険料の規模と基本額の規模が一致するよう1期分としている。

・ **基金の活用…①収支不足の財源対策、②保健事業の振興に資する費用**

～宇治市国民健康保険事業財政調整基金条例～

〔 第1条:宇治市国民健康保険事業の健全財政の維持及び保健事業の振興に資するため、  
 宇治市国民健康保険事業財政調整基金を設置する。 〕

## 宇治市の取り組み状況

平成30年度制度改革以降に創設された、保険者の医療費の適正化をはじめとする取組を客観的な指標で評価し、支援金を交付する「保険者努力支援制度」をふまえ、取り組みを行っている。

### 宇治市の保健事業

#### ○ 特定健康診査・特定保健指導事業

特定健康診査 40歳以上の国保加入者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した健診を実施(H27より無料化)。

特定保健指導 特定健康診査の結果により、健康の保持に努める必要がある人に対して生活習慣改善のための取組みに係る支援を実施。

(単位:人)

	特定健診			特定保健指導				
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	動機付け支援		積極的支援	
					対象者数	利用者数	対象者数	利用者数
H29	33,003	11,245	34.1%	1,174	941	237	233	45
H30	30,268	11,104	36.7%	1,164	927	218	237	33
R1	29,685	12,117	40.8%	1,416	1,096	243	320	26
R2	29,078	11,249	38.7%	1,360	1,054	198	306	41

※特定健診は国庫負担金実績報告の数値、特定保健指導は実績値

※特定健診受診者数は人間ドックを含む

#### (宇治市での取り組み状況)

令和元年度より、特定健診の未受診者に対する個別通知及びコールセンターからの電話勧奨を外部業者に委託。受診勧奨により令和元年度は前年度より受診率が4.1%向上したが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症等の影響により受診率が低下している。

#### ○ 人間ドック・脳ドック受診補助

35歳以上の国保加入者を対象に、人間ドック及び脳ドックの健診費用の7割相当額を補助。

(単位:人)

区分		H28	H29	H30	R1	R2	R3
人間ドック	定員	1,500	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700
	申込	2,246	2,088	1,883	1,982	1,528	1,651
	競争率	1.50	1.23	1.11	1.17	0.90	0.97
	利用者	1,435	1,603	1,575	1,582	1,306	
脳ドック	定員	700	800	800	800	800	800
	申込	1,706	1,568	1,335	1,329	906	945
	競争率	2.44	1.96	1.67	1.66	1.13	1.18
	利用者	672	755	740	747	684	

#### ○ 糖尿病性腎症重症化予防事業

1人あたり医療費が高額である人工透析の原疾患である糖尿病性腎症の重症化を予防するため、健診結果やレセプト等のデータから未受診者に対し医療機関の受診勧奨を令和2年度から実施。

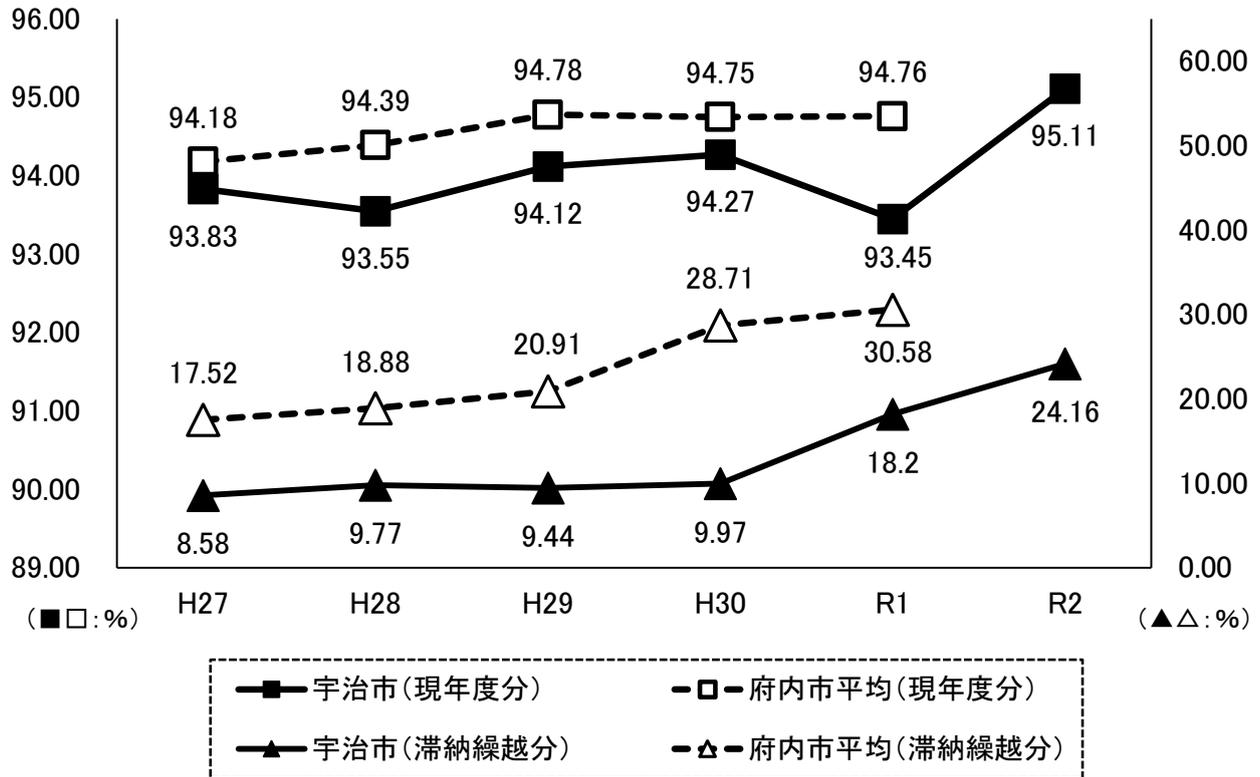
#### ○ 重複服薬者通知事業

複数の医療機関から同一薬効の医薬品を継続処方されている被保険者に服薬情報を通知し、かかりつけ医、かかりつけ薬剤師、薬局による被保険者の服薬情報の一元的管理を推奨し、安心して薬物治療を受けられる体制をつくとともに、医療費の適正化を図る。

## 国民健康保険料の徴収状況

### ○ 収納率の状況

令和2年度の特徴として、現年度分と滞納繰越分の収納率がともに向上した。現年度分においてはコロナ減免による対応を行ったことや、滞納繰越分においては京都地方税機構へ滞納整理事務を移管したことが大きな要因と考えられる。



### ○ 滞納世帯数の推移

	H28	H29	H30	R1	R2
滞納世帯数(世帯)	3,337	3,434	3,286	2,384	2,429

※各年度出納閉鎖時 滞納世帯数にはすでに国保資格を喪失している者も含む

### ○ 短期証・資格証明書の交付

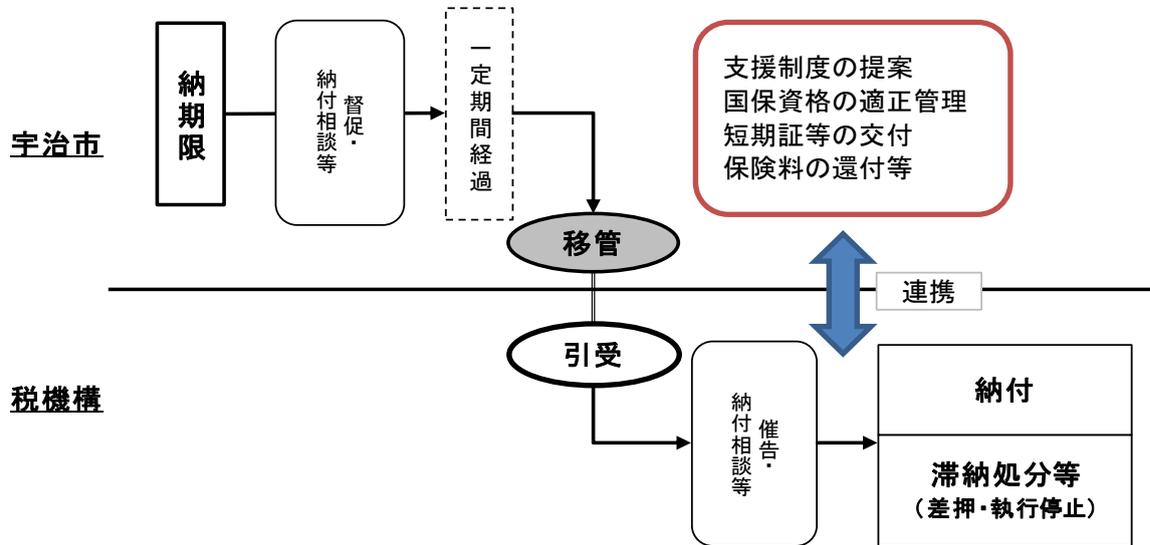
滞納状況に応じて、有効期限の短い保険証(短期証)の交付することで、相談機会を確保するとともに、特別な事情なく、納付がない場合には、自己負担額が10割となる資格証明書を交付。

	H28	H29	H30	R1	R2	R3
短期証交付(世帯)	1,054	945	851	724	730	548
資格証明書交付(世帯)	192	202	210	208	196	135

※各年度4月末現在

○ 令和2年度より京都地方税機構への移管開始

国保財政の安定化や被保険者間の負担の公平性の観点から保険料の収納率の向上を図るため、令和2年4月1日から国民健康保険料の滞納整理事務の移管を開始した。  
(業務分担)



○ 税機構移管後の状況

業務

- ・ 税機構担当と連携、情報共有し、滞納者の対応を実施。
- ・ 納付相談の主な窓口を税機構としつつ、定期的に市窓口等にて状況把握、相談、支援制度の案内を行う。
- ・ 国保資格の管理、保険給付、保険料の賦課、督促状の送付、過誤納金還付、保健事業は、従来どおり市で実施。

収納率の向上 専門的な知識を有する職員による税滞納とあわせた効率的な徴収業務の実施により収納率の向上につながっている。

○ 現年度収納率向上のための取り組み

口座振替の利用を基本としながらも、より納付しやすい環境の整備を図るためキャッシュレス決済を導入。スマホアプリ(LINEPay、PayPay)により保険料の支払いが可能となった。これまで納付書での納付は、金融機関、コンビニまで出向く必要があったが、場所、時間を問わず保険料の支払いが可能となった(市税等もあわせて実施)。

利用状況(現年度 令和3年11月末現在)

納付方法	口座振替	年金特徴	納付書				合計
			金融機関	コンビニ	スマホ	その他	
件数	95,703	5,122	11,503	19,360	1,707	928	134,323
割合	71.25%	3.81%	8.57%	14.41%	1.27%	0.69%	

(参考) 宇治市国民健康保険料改定率・限度額等の推移

		国民健康保険料改定率・限度額			年度末基金 残高(千円)	被保険者数 (人)
		改定率	限度額 (万円)	国基準限度額 (万円)		
H17	医	2.99%	53	53	231,878	60,560
	介	14.58%	8	8		
H18	医	据置	53	53	272,589	60,817
	介	5.40%	9	9		
H19	医	据置	56	56	209,501	60,949
	介	2.21%	9	9		
H20	医+後	2.51%	59(47+12)	59(47+12)	172,066	47,752
	介	△9.1%	9	9		
H21	医+後	3.99%	59(47+12)	59(47+12)	176,082	47,751
	介	5.42%	10	10		
H22	医+後	4.63%	63(50+13)	63(50+13)	383,800	48,192
	介	12.93%	10	10		
H23	医+後	3.63%	65(51+14)	65(51+14)	482,020	48,634
	介	22.34%	12	12		
H24	医+後	据置	65(51+14)	65(51+14)	644,723	48,533
	介	据置	12	12		
H25	医+後	据置	65(51+14)	65(51+14)	904,318	47,892
	介	据置	12	12		
H26	医+後	据置	67(51+16)	67(51+16)	1,077,885	47,272
	介	△5.07%	14	14		
H27	医+後	据置	69(52+17)	69(52+17)	977,154	46,362
	介	△5.87%	16	16		
H28	医+後	据置	73(54+19)	73(54+19)	807,255	44,378
	介	据置	16	16		
H29	医+後	据置	73(54+19)	73(54+19)	950,289	42,101
	介	据置	16	16		
H30	医+後	△6.56%	77(58+19)	77(58+19)	1,348,344	40,193
	介	△9.17%	16	16		
R1	医+後	据置	80(61+19)	80(61+19)	834,981	38,693
	介	据置	16	16		
R2	医+後	据置	82(63+19)	82(63+19)	801,493	37,918
	介	据置	17	17		
R3	医+後	△0.32%	82(63+19)	82(63+19)	642,686	37,050
	介	7.80%	17	17		

※R3は当初予算編成時点

(参考) 宇治市国民健康保険事業特別会計収支の推移

	歳入総額	歳出総額	形式収支	単年度収支
H17	14,684,175	14,543,673	140,502	110,355
H18	15,365,701	15,362,672	3,029	△ 137,473
H19	16,521,775	16,648,161	△ 126,386	△ 129,415
H20	16,162,747	16,175,703	△ 12,956	113,430
H21	17,121,508	16,567,361	554,147	567,103
H22	18,167,760	17,694,809	472,951	△ 81,196
H23	19,048,650	18,617,056	431,594	△ 41,357
H24	20,019,651	19,295,877	723,774	292,180
H25	20,721,574	20,079,288	642,286	△ 81,488
H26	20,954,379	20,470,981	483,398	△ 158,888
H27	23,650,505	23,234,372	416,133	△ 67,265
H28	23,618,854	22,787,738	831,116	414,983
H29	23,386,867	22,588,079	798,788	△ 32,328
H30	19,196,508	19,196,508	0	△ 798,788
R1	18,770,809	18,770,809	0	0
R2	17,683,672	17,683,672	0	0
R3(見込)	18,380,000	18,380,000	0	0